



サイバーセキュリティの置き薬

2023年
第4号

情報セキュリティ 10大脅威 2023

IPA（独立行政法人情報処理推進機構）では、情報セキュリティの研究者や企業の実務担当者などからなる「10大脅威選考会」が、2022年に発生した情報セキュリティ事案のうち、社会的に影響が大きかったと考えられるものを投票した結果を公表しています。

出典元：IPA（独立行政法人情報処理推進機構）

<https://www.ipa.go.jp/>

前年 順位	個人	順位	組織	前年 順位
1	フィッシングによる個人情報等の詐取	1	ランサムウェアによる被害	1
2	ネット上の誹謗・中傷・デマ	2	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	3
3	メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	3	標的型攻撃による機密情報の窃取	2
4	クレジットカード情報の不正利用	4	内部不正による情報漏えい	5
5	スマホ決済の不正利用	5	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	4
7	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	6	修正プログラムの公開前を狙う攻撃（ゼロデイ攻撃）	7
6	偽警告によるインターネット詐欺	7	ビジネスメール詐欺による金銭被害	8
8	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	8	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	6
10	インターネット上のサービスへの不正ログイン	9	不注意による情報漏えい等の被害	10
圏外	ワンクリック請求等の不当請求による金銭被害	10	犯罪のビジネス化（アンダーグラウンドサービス）	圏外

個人部門では2年連続「フィッシングによる個人情報等の詐取」
組織部門では3年連続「ランサムウェアによる被害」が第1位
となりました。対応策はこちら↓

Youtube（富山県警察公式チャンネル）注意喚起動画配信中！

○ 「フィッシング」
は、こちら→



○ 「ランサムウェア」
は、こちら→



※通信費は、ご利用者の負担となります。

【参考】

情報セキュリティ10大脅威 2023：IPA 独立行政法人 情報処理推進機構
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2023.html>
 情報セキュリティ啓発：IPA 独立行政法人 情報処理推進機構
<https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/features.html>